

科目名 クラス 講義区分

博物館資料保存論 <秋>

【教員氏名】

井上 敏

研究室:聖アンデレ館 8 階 822 号室

メールアドレス:s-inoue@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

本講義では博物館の資料を保存するとはどういうことか、ということを見視野において、①博物館資料の保全、②博物館資料の保存環境、③環境保護と博物館の役割、と大きく3つに分けて講義する。講義内容については理化学的な知識と共に伝統的な保存方法についても触れる。

【学習目標】

博物館における資料保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を通じて、資料の保存に関する基礎的能力を養う。

【講義計画】

第 1 回:ガイダンスー博物館における資料保存の意義

第 2 回:博物館資料の保存(1)ー状態調査・現状調査

第 3 回:博物館資料の保存(2)ー資料の修復・修理

第 4 回:博物館資料の保存(3)ー資料の梱包と輸送(1)

第 5 回:博物館資料の保存(4)ー資料の梱包と輸送(2)

第 6 回:博物館資料の保存環境(1)ー保存の諸条件とその影響

第 7 回:博物館資料の保存環境(2)ー生物被害とIPM(総合的有害生物管理)

第 8 回:博物館資料の保存環境(3)ー災害の防止と対策(火災、地震、水害、盗難等)

第 9 回:博物館資料の保存環境(4)ー伝統的保存方法

第 10 回:博物館資料の保存環境(5)ー収蔵、展示等の保存環境

第 11 回:環境保護と博物館の役割(1)ー地域資源の保存と活用(エコミュージアム等)

第 12 回:環境保護と博物館の役割(2)ー文化財の保存と活用(1)

第 13 回:環境保護と博物館の役割(3)ー文化財の保存と活用(2)

第 14 回:環境保護と博物館の役割(4)ー自然環境の保護

第 15 回:まとめ

【成績評価の方法】

試験評価:70% レポート:0% 出席:30%

この講義は資格関係の科目であるので、全回遅刻厳禁であり毎回出席すること。

【使用テキスト】

石崎武志『博物館資料保存論』講談社

【参考文献】

講義中に指示する。

【準備学習の指示(事前学習 30 時間、事後学習 30 時間)】

この講義では理科学的な知識も必要とするので、できるだけ優しく理化学的な知識について解説する予定である。

【その他備考(担当教員用)】

【備考(管理者用)】

(旧:博物館学特講)08~11 生読替